



分教室

進路選択のポイント

副室長・進路担当 山崎 浩一

みなさんは卒業後の進路をどのようにお考えでしょうか？もしかしたら、1年生なら「学校生活に慣れ、実習に向けて考え始める」、2年生なら「実習経験を重ね、進路実現に向けて具体的に考える」、3年生なら「希望の進路先が決まるか期待と不安でいっぱい」と、学年によっても、保護者の方にとっても思いはそれぞれのことと思います。

では、具体的に進路を考える際にはどのように決定していくのでしょうか？例えば「〇〇の仕事がしたい」という理由で進路を見据え、学生の時に努力した結果が仕事に結びつく方もいるかもしれません。または「自分のこんな力がこの仕事に活かせる」という理由や「待遇がいいから」「安定しているから」といった理由で仕事を選んでいる方もいると思います。どのような進路を決める時も、何か理由や目的があって決定していることと思います。それは人それぞれでいいと思います。ただその中で重要なのが「何を優先して決めるか」ということです。色々な条件や環境がある中で何を大事にしていくのか、このポイントを忘れないでほしいと思います。

分教室では、よく「本人にとってよりよい進路選択を」と言っています。進路を決める時には本人だけでも、保護者だけでも、学校だけでもなく、みんなで考えていきたいと思います。夢や希望に向かって進んでいくことは大切なことですが、本人の実態や現状と照らし合わせて、今がその時なのかをしっかりと見極めていきたいと思います。そのためにも、「数ある進路先の中かから本人に合う進路先を探す」のではなく、「進路選択のポイントに合う進路先を見つける」という視点も持っていただきたいと思います。進路選択のポイントを以下に紹介します。

ポイント	具体的な内容
勤務時間	・何時間働けるか？・希望時間帯は？(何時に出社できるか？)
通勤時間	・時間的にどれくらい可能か？
通勤方法	・電車の乗り換えは？何駅くらい？・バス利用は？・混雑した電車は？
給料	・いくらくらいが希望か？ ※給料に見合った労働時間、体力、理解力は？
本人の強み	例えば・・・集中の持続、注意の持続(正確さ)、手先が器用、体を動かす方がいい

ポイントに挙げたのは一例にすぎません。以前ご紹介した「職業準備性ピラミッド」を参考に、健康管理や日常生活管理の土台の部分をしっかりと築き上げてほしいと思います。